

小中学校適正規模適正 配置等検証委員会

愛西市教育委員会

小学校区別児童数（1年生）の推移及び推計

年度	永和	市江	佐屋	佐屋西	立田南部	立田北部	八輪	開治	北河田	勝幡	草平	西川端	児童計
2014 (H26)	72	29	101	23	23	34	21	20	49	44	61	37	514
2015 (H27)	76	40	98	35	38	30	22	9	69	34	59	40	550
2016 (H28)	59	39	106	41	35	25	21	19	58	45	53	37	538
2017 (H29)	65	34	104	33	27	25	11	11	62	31	56	37	496
2018 (H30)	69	41	85	43	24	26	18	11	50	43	48	25	483
2019 (R1)	45	38	79	28	25	26	16	17	50	31	38	36	429
2020 (R2)	60	37	104	41	21	24	16	9	48	29	49	36	474
2021 (R3)	58	40	87	41	16	17	19	11	48	35	37	36	445
2022 (R4)	39	31	105	32	23	23	19	22	46	23	48	31	442
2023 (R5)	45	35	86	39	10	23	13	14	44	36	33	35	413
2024 (R6)	38	31	96	42	23	16	15	8	50	29	38	36	422
2025 (R7)	46	29	91	34	16	19	22	11	42	29	33	35	407
2026 (R8)	46	24	87	34	14	19	15	12	43	32	26	45	397
2027 (R9)	35	29	59	28	13	7	9	4	29	21	30	31	295

※令和4（2022）年度以降については、令和3（2021）年10月1日現在の未就学児数から推計

適正規模等についての 検討の経緯

適正規模等についての検討の経緯

愛西市立小中学校適正規模等検討委員会

H26.5 ~ H26.11 検討委員会 (5回)

※保護者代表・自治会代表を含めた委員8名により開催



H27.1 愛西市立小中学校適正規模等検討委員会から愛西市教育委員会へ
**愛西市立小・中学校における学校規模及び学校配置の基本的在り方
についての提案を提出**



愛西市教育委員会

H27.2 愛西市立小中学校適正規模等基本方針を策定

※HP及び広報平成27年4月号にて公開

H27.3 3月議会に愛西市立小中学校適正規模等基本方針を報告

H27.5 市内小中学校PTA役員に対しアンケート実施 ※①



愛西市立小中学校適正規模等検討協議会

H27.7 ~ H28.8 検討協議会（8回）

※公募委員・各地区自治会代表・母親代表を含めた委員18名により開催

地域懇談会開催

※広報同時回覧にて開催周知

H27.10 佐屋会場・立田会場

H27.11 八開会場・佐織会場 来場者にアンケート実施

H28.4 総代・副総代、幼・保育園、小・中学校にアンケート実施

H28.9 愛西市立小中学校適正規模等検討協議会から愛西市教育委員会へ
愛西市立小中学校適正規模等基本計画の提案を提出

※HPにて提案を公開

愛西市教育委員会

10回にわたり定例・臨時教育委員会にて検討

H29.9 教育委員会にて適正規模等の方向性を決定

保護者説明会開催

※学校を通じて開催周知

第1回 H29.9.16・17 八開会場・立田会場

第2回 H29.11.18・26 八開会場・立田会場

地域説明会開催

第1回 H30.7.21・22 八開会場・立田会場

第2回 R1.9.21 八開会場・立田会場

適正規模を考える視点

【視点(1)】～より育ちやすい環境について～

- ① 集団の中で多様な考えに触れ、お互いを認め合い、協力し合い、切磋琢磨することができるか
- ② 多くの出会いから様々な経験ができ、忍耐力や包容力を身につけることができるか
- ③ 集団の中で社会性や規範意識を育むことができるか
- ④ 集団の中で自己肯定感を高め、他者を思いやることができるか

適正規模を考える視点

【視点(2)】 ～より良い学習環境について～

- ① 各教科の専門教師が配置できるか
- ② 学習形態の多様化が図れるか
(グループ学習・習熟度別・少人数指導等)
- ③ クラス替えができるか
- ④ 男女比のバランスはどうか
- ⑤ 部活動の選択の幅はあるか

● 学校規模の適正基準

規模の種類	小学校	中学校
過小規模校	～ 5 学級	～ 5 学級
小規模校	6 学級 ～ 1 1 学級	6 学級～ 8 学級
適正規模校	1 2 学級～ 1 8 学級	9 学級～ 1 8 学級
大規模校	1 9 学級～ 3 0 学級	1 9 学級～ 2 4 学級
過大規模校	3 1 学級～	2 5 学級～

愛西市では国の基準を参考に、学校規模基準を以上のように定めました。

(平成 2 7 年 2 月 「愛西市立小中学校適正規模等基本方針」 より)

小規模校のメリット・デメリット

メリット

- 児童生徒一人ひとりに教員の目が届きやすい
- 行事等で一人ひとりの活躍の機会をつくりやすい
- 児童生徒相互の人間関係が深まりやすい

デメリット

- 教科によっては専門教師が配置できない
- 学習形態が制限されてしまう
- 卒業まで一度もクラス替えができない
- 人間関係が固定化(序列化)してしまう
- 部活動の選択の幅が少ない

愛西市立小中学校適正規模等検討協議会 からの3つの提案

《統合案1》立田・八開地区の学校すべてを統合し、小中一貫校1校にする。

- 立田南部小学校（福原分校含む）・立田北部小学校・八輪小学校・開治小学校・立田中学校・八開中学校を統合し、施設一体型の小中一貫校にする。

《統合案2》立田地区で小学校1校、八開地区で小学校1校、立田地区と八開地区で中学校1校とし、小中一貫教育を進める。

- 立田南部小学校（福原分校含む）、立田北部小学校を統合する。
- 八輪小学校と開治小学校を統合する。
- 立田中学校と八開中学校を統合する。
- 各小学校と中学校において連携型小中一貫教育を進める。

《統合案3》立田地区で小学校1校・中学校1校、八開地区で小学校1校・中学校1校とし、各地区で小中一貫教育を進める。

- 立田南部小学校（福原分校含む）、立田北部小学校を統合する。
- 八輪小学校、開治小学校を統合する。
- 立田中学校、八開中学校は、現状のままとする。
- 立田・八開地区それぞれで小中一貫教育を進める。

平成30年度愛西市学校別 児童生徒数及び学級数

《佐屋地区》

学校名	人数	学級数
永和小学校	4 2 1	1 3
市江小学校	2 2 3	9
佐屋小学校	5 9 9	1 8
佐屋西小学校	2 1 9	8
永和中学校	2 1 6	7
佐屋中学校	5 6 2	1 6

《立田地区》

学校名	人数	学級数
立田南部小学校	1 6 9	6
立田北部小学校	1 6 2	6
立田中学校	1 8 8	6

《八開地区》

学校名	人数	学級数
八輪小学校	1 0 3	6
開治小学校	8 2	6
八開中学校	1 0 7	4

《佐織地区》

学校名	人数	学級数
北河田小学校	3 3 5	1 2
勝幡小学校	2 3 4	1 0
草平小学校	3 2 7	1 2
西川端小学校	2 1 4	8
佐織中学校	3 3 7	1 0
佐織西中学校	3 3 9	1 1

平成30年度学校基本調査より通常学級のみ抽出

立田・八開地区統合後の児童生徒数及び学級数 (平成30年度における平成35年度推計)

《小学校》

	児童数	学級数
1年生	54	2
2年生	74	2
3年生	64	2
4年生	72	2
5年生	86	3
6年生	76	2
合計	426	13

《中学校》

	生徒数	学級数
1年生	71	3
2年生	97	3
3年生	96	3
合計	264	9

《学校規模の適正基準》

規模の種類	小学校	中学校
適正規模校	12学級～18学級	9学級～18学級

愛西市立小中学校適正規模に関する アンケート結果の概要について

愛西市立小中学校適正規模等の検討あたって、これまで各種アンケートを実施してきました。各アンケート結果の概要をお知らせします。

各アンケート実施日と回収数

種類	対象	実施日(回収日)	配布数	回収数	回収率
A	PTA役員(市内全小中学校)	平成27年5月8日	701	610	87.0%
B	地域懇談会(佐屋)	平成27年10月17日	25	22	88.0%
	地域懇談会(立田)	平成27年10月31日	13	11	84.6%
	地域懇談会(八開)	平成27年11月14日	32	27	84.4%
	地域懇談会(佐織)	平成27年11月28日	21	19	90.5%
C	未就学児歯科検診(佐織)	平成28年5月12日	24	24	100.0%
	未就学児歯科検診(佐屋)	平成28年5月19日	31	28	90.3%
	総代・副総代	平成28年5月24日	239	203	84.9%
	幼稚園・保育園 ※1	平成28年5月24日	270	223	82.6%
	小学校 ※2	平成28年5月24日	317	301	95.0%
	中学校 ※2	平成28年5月24日	192	177	92.2%
	合計		1,865	1,645	88.2%

※1 市内の園から抽出し、市内在住者に各園50名程度で実施

(市江保育園・立南保育園・白百合保育園・佐織保育園・とみよし幼稚園・諏訪幼稚園)

※2 市内全19小中学校から各校1クラス抽出し実施

A PTA役員 回収数：610枚 平成27年5月実施

◎全校の児童生徒の人数について

佐屋地区

選択肢	回答数	%
かなり多い	7	3.1%
やや多い	36	16.1%
ちょうどよい	91	40.8%
やや少ない	73	32.7%
かなり少ない	15	6.7%
無回答ほか	1	0.4%

立田地区

選択肢	回答数	%
かなり多い	0	0.0%
やや多い	0	0.0%
ちょうどよい	20	19.0%
やや少ない	58	55.2%
かなり少ない	27	25.7%
無回答ほか	0	0.0%

八開地区

選択肢	回答数	%
かなり多い	0	0.0%
やや多い	0	0.0%
ちょうどよい	6	8.7%
やや少ない	26	37.7%
かなり少ない	37	53.6%
無回答ほか	0	0.0%

佐織地区

選択肢	回答数	%
かなり多い	0	0.0%
やや多い	5	2.3%
ちょうどよい	116	54.5%
やや少ない	81	38.0%
かなり少ない	11	5.2%
無回答ほか	0	0.0%

◎1学年あたりのクラス数について

佐屋地区

選択肢	回答数	%
かなり多い	5	2.2%
やや多い	27	12.1%
ちょうどよい	104	46.6%
やや少ない	71	31.8%
かなり少ない	15	6.7%
無回答ほか	1	0.4%

立田地区

選択肢	回答数	%
かなり多い	0	0.0%
やや多い	3	2.9%
ちょうどよい	26	24.8%
やや少ない	42	40.0%
かなり少ない	29	27.6%
無回答ほか	0	0.0%

八開地区

選択肢	回答数	%
かなり多い	0	0.0%
やや多い	1	1.4%
ちょうどよい	13	18.8%
やや少ない	22	31.9%
かなり少ない	33	47.8%
無回答ほか	0	0.0%

佐織地区

選択肢	回答数	%
かなり多い	1	0.5%
やや多い	5	2.3%
ちょうどよい	107	50.2%
やや少ない	88	41.3%
かなり少ない	14	6.6%
無回答ほか	1	0.5%

B 地域懇談会（4地区） 回収数：79枚
平成27年10～11月実施

◎お住まいの学区において学校規模の適正化は必要か ◎学校規模の適正化の手法として相応しい方策

(複数回答可)

選択肢	回答数	%
必要	43	54.4%
不必要	24	30.4%
無回答ほか	12	15.2%

選択肢	回答数
小中一貫教育	15
学校の統廃合	26
通学区域の再編	22
通学方法の検討	31
現状のままで良い	15
現時点では判断できない	16
その他	3

C 総代・副総代、小中学生保護者他 回収数：956枚
平成28年5月実施

◎小規模化している学校において小中学校の統廃合は必要か

佐屋地区

選択肢	回答数	%
必要	159	48.0%
不必要	158	47.7%
無回答ほか	14	4.2%

立田地区

選択肢	回答数	%
必要	83	44.1%
不必要	97	51.6%
無回答ほか	8	4.3%

八開地区

選択肢	回答数	%
必要	77	65.3%
不必要	39	33.1%
無回答ほか	2	1.7%

佐織地区

選択肢	回答数	%
必要	155	49.2%
不必要	153	48.6%
無回答ほか	11	3.5%

※1 立田地区のアンケートでは通学距離が長いことを問題として不必要と回答した方が多かった。スクールバスの導入等でその問題が解決されれば統合が必要とする意見が多くなると推測され、その場合、必要59.0%、不必要36.7%となる。

◎統廃合が「必要」な場合小中学校の統廃合はどのような形が理想か

(複数回答可)

選択肢	回答数
八輪小学校と開治小学校 2 小学校の統合	294
立田北部小学校と立田南部小学校（分校含む） 2 小学校の統合	238
西川端小学校と草平小学校 2 小学校の統合	152
立田北部小学校と立田南部小学校（分校含む）と八輪小学校と開治小学校の 4 小学校の統合	94
八開中学校と立田中学校 2 中学校の統合	219
無回答・その他意見	179

◎小中学校の統廃合が「不必要」である理由

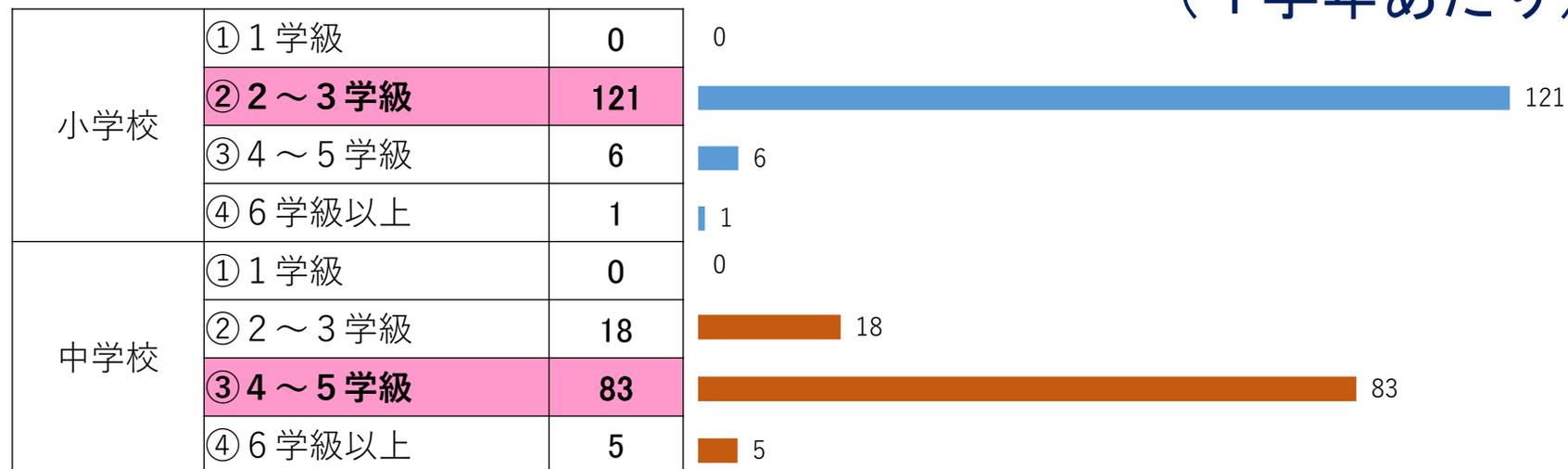
(複数回答可)

選択肢	回答数
児童生徒間のコミュニケーションや人間関係が深まる。	210
児童生徒全員の状態が把握しやすい。	284
個性や特性に応じたきめ細やかな指導ができる。	295
クラス数に対して、特別教室・体育館・運動場の割り当てが多くなる。	89
無回答・その他意見	132

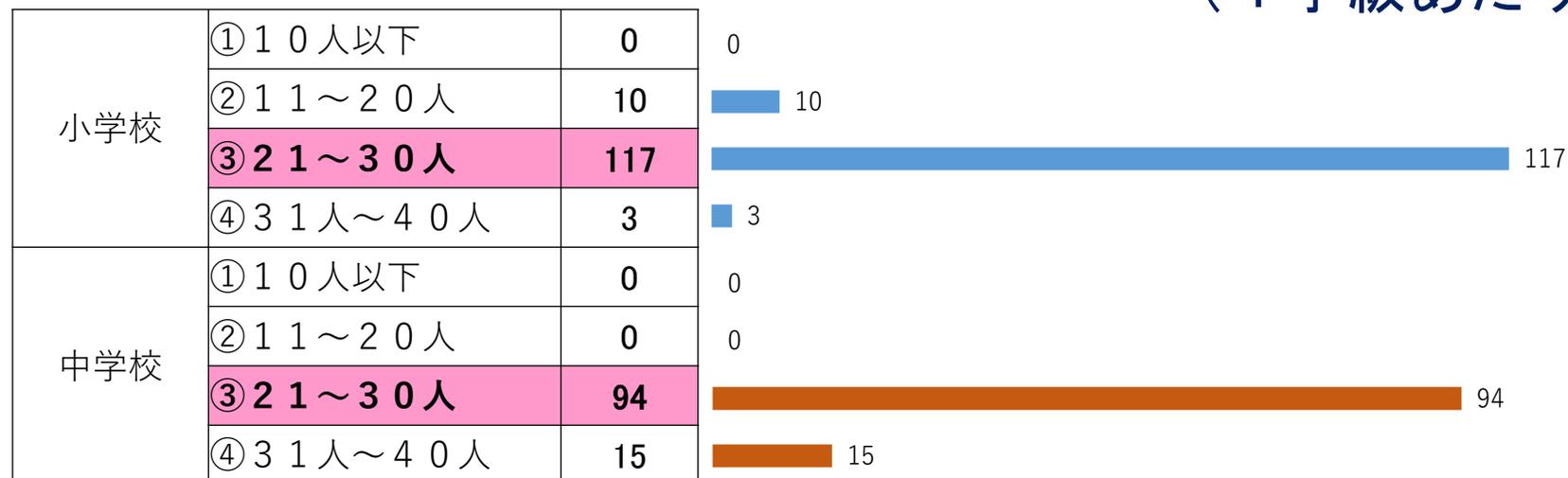
**海部管内公立小中学校
校長及び教務主任対象アンケート
集計結果（抜粋）**

平成30年6月実施

問 児童生徒が育つうえで、望ましいと思われる学級数 (1学年あたり)



問 児童生徒が育つうえで、望ましいと思われる学級人数 (1学級あたり)



問 小規模校・過小規模校のメリットについて、次から
上位3つを選んでください。

(回答数)

①児童・生徒の一人ひとりに目がとどきやすく、きめ細かな指導が行いやすい	131
②学校行事や部活動等において、児童・生徒一人ひとりの個別の活動機会を得やすい	67
③教師と児童・生徒相互の人間関係が深まりやすい	83
④異学年間の縦の交流が生まれやすい	53
⑤保護者や地域社会との連携が図りやすい	24
⑥災害発生等による緊急避難時に混乱が生じにくい	26
⑦ゆとりや安心感など、家庭的な雰囲気の中で勉強がしやすい	30
⑧その他	0

問 小規模校・過小規模校のデメリットについて、次から上位3つを選んでください。

(回答数)

①多様な価値観に触れる機会や学びあいの機会、切磋琢磨する機会が少ない。	105
②中学校では各教科の免許を持つ教員をすべて配置しにくい。	78
③グループ学習や習熟度別学習等、多様な指導形態が取りにくい。	20
④部活動等の設置が限定され、選択肢が限られる。	53
⑤クラス替えが困難なことなどから、人間関係が固定し、友人間に序列ができやすい。	124
⑥男女比に極端な偏りが生じやすく、球技等でチーム編成ができない。	19
⑦多人数の前で自らの考えを発言することが少ないため、自信を持たせる指導機会が少ない。	12
⑧その他	4

愛西市立小中学校規模等適正化 第2回地域説明会

アンケート結果概要

令和元年9月21日(土)実施

アンケート回収内訳

会場		八開中学校 体育館	立田体育館	合計	地区別割合
アンケート回収数		94	35	129	
居住地内訳	八開	82	2	84	65.1%
	立田	4	26	30	23.3%
	市内その他	5	3	8	6.2%
	未記入	3	4	7	5.4%
	合計	94	35	129	100.0%

※問1（お住まいの町名）問2（同居している子どもの年齢）についての結果は省略しています。

問3 小規模、過小規模の学校規模について、どう思われますか。

選択	回答数		
	八開 会場	立田 会場	合計
問題だと思う	52	25	77
問題ではないと思う	34	7	41
わからない	4	2	6
未記入その他	4	1	5
合計	94	35	129

問4 適正化は行うべきと思いますか。

選択	回答数		
	八開 会場	立田 会場	合計
行うべき	38	26	64
行うべきではない	41	4	45
わからない	10	3	13
未記入その他	5	2	7
合計	94	35	129

問5に対する回答意見の概要

問5 統合の進め方にどのようなご意見をお持ちですか。
(問4 適正化を行うべきと回答された方への再質問)

- ・ 他地区との統合を視野に入れるべきではないか
- ・ 地域住民の意見を聞きながら迅速に進めてほしい
- ・ 子どもが少なくなっており、仕方のないことと思う
- ・ 各地区ごとに統合する方が良いのでは

※主な意見を統合・集約しています。

問6に対する回答意見の概要

問6 適正化についてどのようなご意見をお持ちですか。
(問4 適正化を行うべきではないと回答された方への再質問)

- ・今までも問題ない、適正化する必要はない
- ・小規模校の良さを生かすべき
- ・適正化よりも少子化対策すべき
- ・費用が掛かりすぎる
- ・行うのであれば市全体で見直すべき

※主な意見を統合・集約しています。

問7に対する回答意見の概要

問7 上記以外でご意見があればご記入ください。

- ・ スクールバスを運行するならば全員対象としたほうが良い
- ・ 人口が増えるような施策を
- ・ 適正化の説明に納得できない
- ・ 十分な協議をし、早く進めてほしい
- ・ 現在の子どもが抱える課題が理解されていない人が多いと感じた
- ・ 跡地利用や今後の方針をはっきりしてほしい
- ・ 市全体で見直してほしい
- ・ 説明会の意見が住民の総意ではないと思う

※主な意見を統合・集約しています。

児童生徒数の推計

立田・八開地区統合後の児童生徒数及び学級数 (令和9年度推計)

《小学校》

	立田南部	立田北部	八輪	開治	児童数	学級数
1年生	13	7	9	4	33	1
2年生	14	19	15	12	60	2
3年生	16	19	22	11	68	2
4年生	23	16	15	8	62	2
5年生	10	23	13	14	60	2
6年生	23	23	19	22	87	3
合計	99	107	93	71	370	12

《中学校》

	立田	八開	生徒数	学級数
1年生	33	30	63	2
2年生	45	25	70	2
3年生	51	33	84	3
合計	129	88	217	7

令和3年10月1日現在での推計

令和3年度愛西市学校別 児童生徒数及び学級数

《佐屋地区》

学校名	人数	学級数
永和小学校	3 3 7	1 2
市江小学校	2 1 4	8
佐屋小学校	5 3 8	1 8
佐屋西小学校	2 2 8	9
永和中学校	2 1 7	8
佐屋中学校	5 1 7	1 4

《立田地区》

学校名	人数	学級数
立田南部小学校	1 3 5	6
立田北部小学校	1 3 9	6
立田中学校	1 7 7	6

《八開地区》

学校名	人数	学級数
八輪小学校	9 5	6
開治小学校	7 6	6
八開中学校	9 5	3

《佐織地区》

学校名	人数	学級数
北河田小学校	3 0 5	1 2
勝幡小学校	2 1 3	8
草平小学校	2 6 8	1 1
西川端小学校	2 1 2	7
佐織中学校	2 8 0	9
佐織西中学校	2 7 9	9

令和3年度学校基本調査より通常学級のみ抽出

令和9年度愛西市学校別 児童生徒数及び学級数の推計

《佐屋地区》

学校名	人数	学級数
永和小学校	249	11
市江小学校	179	6
佐屋小学校	524	17
佐屋西小学校	209	8
永和中学校	163	6
佐屋中学校	495	14

《立田地区》

学校名	人数	学級数
立田南部小学校	99	6
立田北部小学校	107	6
立田中学校	129	5

《八開地区》

学校名	人数	学級数
八輪小学校	93	6
開治小学校	71	6
八開中学校	88	3

《佐織地区》

学校名	人数	学級数
北河田小学校	254	11
勝幡小学校	170	7
草平小学校	208	8
西川端小学校	213	8
佐織中学校	241	8
佐織西中学校	232	8

学校施設について

愛西市立小中学校施設老朽化の現状について（主要建物のみ）

学校名	棟 別	棟	建築年	経過年数	面積(㎡)
佐屋小学校	南校舎	東棟	昭和40年	55	1,113
佐屋西小学校	南校舎	東棟	昭和56年	39	2,739
市江小学校	南校舎	西棟	昭和50年	45	919
永和小学校	北校舎	東棟	昭和46年	49	1,223
立田南部小学校	南校舎	西棟	昭和35年	60	630
立田北部小学校	中校舎		昭和37年	58	809
八輪小学校	本校舎		昭和54年	41	2,636
開治小学校	本校舎		昭和55年	40	2,636
北河田小学校	北校舎		昭和46年	49	2,327
勝幡小学校	北校舎	東棟	昭和42年	53	847
草平小学校	北校舎	西棟	昭和45年	50	1,702
西川端小学校	南校舎	西棟	昭和49年	46	927
佐屋中学校	北校舎	西棟	昭和46年	49	1,706
永和中学校	北校舎	西棟	昭和44年	51	2,094
立田中学校	北校舎	中棟	昭和45年	50	1,355
八開中学校	東校舎		昭和50年	45	2,147
佐織中学校	校舎棟		平成18年	14	2,880
佐織西中学校	西校舎		昭和55年	40	2,190